

積雪・暗夜でも生命を守る津波防災対策の実証的展開

背景

- ・道内の津波避難は、積雪寒冷や昼夜の違いなど条件を考慮する必要があります。
- ・最悪条件を考慮した人的被害を評価できる手法を用いた津波防災対策が、市町村から要望されています。

成果

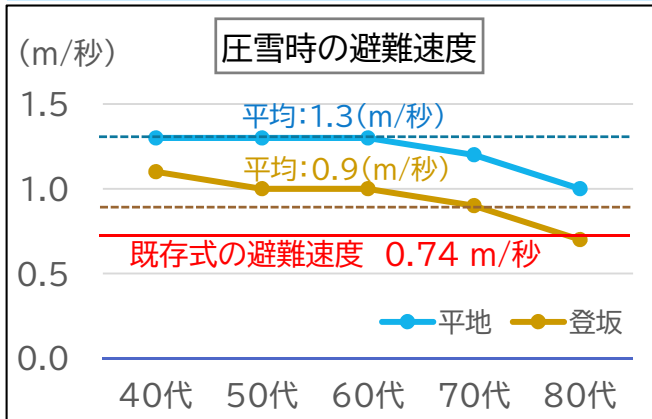


積雪期の避難訓練（八雲町熊石他）で避難速度を計測



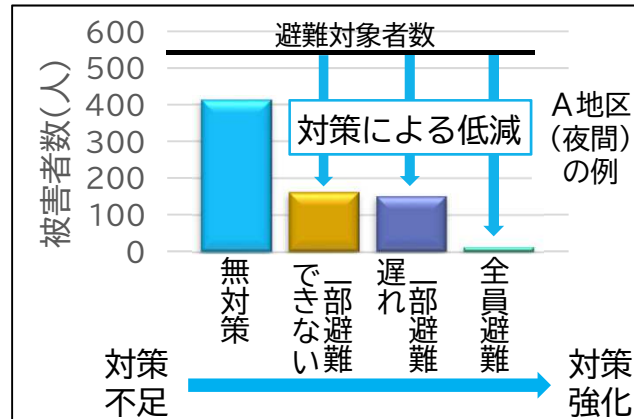
避難ビル機能を持つ神恵内村防災庁舎の設計に反映

精度の高い被害評価手法



- ・年齢別に避難速度を設定可能です。
- ・積雪(圧雪)による速度低下は見られませんでした。

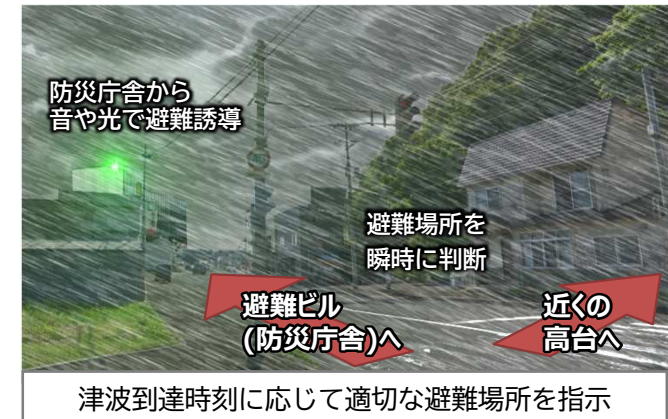
避難対策別の被害者数低減効果



- ・避難行動を変えることによる人的被害の低減効果を示せるようになりました。

地域特性に応じた対策を検討
(避難計画・住宅移転等)

音と光による避難誘導



- ・庁舎に避難可能か、音や光によって誘導する方法を提案しました。

夜間・荒天でも効果的な避難誘導

期待される効果

○道内市町村の津波防災まちづくりに活用され、安全な地域づくりに貢献します。